

令和7年度（2025年度）

愛荘町教育行政方針（暫定案）

（第3期教育振興基本計画にかかる令和7年度アクションプラン）

基本理念

【人が輝き 人が育つ 未来を拓く 愛荘の教育】

生涯にわたって、夢とこころざしを持ち、あらゆる機会
に、あらゆる場所において、学習することができる

人生 100 年の学び



愛荘町教育委員会

愛荘町教育行政方針

人が輝き 人が育つ 未来を拓く 愛荘の教育

(愛荘町 令和の教育改革Ⅲ)

～「未来を拓く愛荘16年教育」の深化と拡充

自律型人材の育成と学びを通じた愛荘らしい地域づくり～

教育の視点

第2次愛荘町総合計画にある「つながり」「こころざし」「にぎわい」「やすらぎ」「かがやき」をキーワードに今後10年を見通した5つの視点を定めます。

つながり

人権を尊重する上で重要な理念であり、これからの時代の真の幸福を考える中では、年代その他を問わず誰にとっても不可欠のものであると考えます。

こころざし

学びの原動力である、夢・志・理想を語ることは、「*学欲」を生み、その「学欲」は「学力」につながります。こうしたことからキャリア教育*の充実が求められます。

にぎわい

人が育ち合う場面で、対話や交流を繰り返すことは、物事の本質を掘り下げ、深い学びへと到達します。それは、学校園教育・社会教育ともに当てはまるものであります。

やすらぎ

安全・安心をベースにすることで、豊かに心身を育むことができます。教育によって「やすらぎ」を覚えることができれば、それは「うるおい」につながると考えます。

かがやき

全ての人が自身の個性・持ち味・強み・良さ、あるいは可能性といったものを発揮することこそが「人が輝く」ことにつながり、自身や社会の未来を拓くことにつながると確信しています。

1 夢・こころざし・生きる力を育む

目標 1

学校・園：確かな学びと自律を育む教育の充実

地域社会：自己の強みや個性を社会に活かす創造性や協働の力を育む

目標 2

学校・園：豊かな心と健やかな体を育む

目標 3

共生社会の形成

2 地域で支え合い つながりとやすらぎで豊かな人生を育む

目標 4

安全・安心な教育環境・地域環境の充実

目標 5

魅力と活力ある学校・園と地域づくり

目標 6

家庭・地域社会の教育力の向上

3 人生 100 年 かがやき にぎわいのある学び

目標 7

生涯学習2.0アクションプランの積極的推進

目標 8

まちじゅう読書の推進

目標 9

歴史文化の継承と芸術文化の振興

目標達成に向けた重点的に取り組むべき施策

目標 1

学校・園：確かな学びと自律を育む教育の充実
地域社会：自己の強みや個性を社会に活かす創造性
や協働の力を育む

【学校・園】

- 1) 今日の社会情勢やこどもたちの実態に沿った学校・園の教育方法およびシステム改革
- 2) 未来社会を切り拓く確かな資質・能力の育成に向けた中学校期からの「探究の充実」と「社会に開かれた教育課程」実現のためのカリキュラムマネジメントの実施
- 3) ICTの更なる活用と学習支援の強化
- 4) 教職員の力量およびチーム力の向上
- 5) 幼稚園・保育所の教育・保育の充実
- 6) こどもの学びに還元される教職員の働き方改革

【地域社会】

- 1) 地域づくり・団体づくりの再構築による「人づくり」
- 2) 教育・福祉が機能するローカル・コミュニティおよびテーマコミュニティの協合・促進
- 3) コミュニケーションスキルの向上
- 4) 自己が得た有形無形の学びの継承（pay it Forwardの推進）

目標 2

学校・園：豊かな心と健やかな体の育成

【学校・園】

- 1) 0歳からの教育の一貫性
- 2) 日々の生活下にある人権課題解決に向けた人権教育の推進
- 3) 体力の向上と運動習慣の確立ならびにメディアコントロール（デジタルデトックス）
- 4) 持続可能な中学校部活動の地域連携を含めた運営のあり方の検討と実施
- 5) 健康教育ならびに食育に関する研究・実践の推進

【地域社会】

- 1) 町民（若者含む）のシビックプライドの醸成
- 2) 地域や家族のにぎわいと活力
- 3) 日々の健康や心身の安定と心地よい家庭・地域の居場所づくり

目標 3

共生社会の形成

【学校・園】

- 1) 特別支援教育の推進
- 2) 体験活動を重視した活動の推進とキャリア教育の推進
- 3) 外国籍のこどもたちへの学習・生活支援

【地域社会】

- 1) 地域社会の特別支援教育
- 2) 保護者・家族が語る、魅せるキャリア教育
- 3) 「お互い様（共助）」の地域づくり
〈社会的困窮者等への支援

目標 4

安全・安心な教育環境・地域環境の充実

【学校・園】

- 1) いじめ防止対策の徹底と日々の生活を問い学ぶ習慣を
- 2) 不登校のこどもたちへのきめ細かな支援の充実
- 3) 安全で快適な教育施設の整備
- 4) 学校危機管理・安全対策の充実
- 5) 家庭の人的環境・経済環境への対応
〈貧困家庭やヤングケアラー等のこどもたちへの支援

【地域社会】

- 1) 安全・安心な地域づくり

目標 5

魅力と活力ある学校・園と地域づくり

【学校・園】

- 1) この仲間と、この地域にある、学校・園で学べてよかったと思える学校・園づくり
- 2) 教職員の資質の向上

【学校・園・地域社会】

- 1) 規範意識の醸成
- 2) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の積極的推進

目標 6

家庭・地域社会の教育力の向上

【地域社会】

- 1) 地域学校協働活動の推進
- 2) 今後、愛荘町で必要とされる様々な取組やシステムの構築
- 3) 生きづらさを感じるこどもたちや大人の居場所づくり
- 4) 地域活性化の推進
- 5) こども育成会激減の課題解決

目標 7

生涯学習2.0アクションプランの積極的推進

【学校・園・地域社会】

- 1) 生涯学習体系の充実
- 2) みんなの活動がつながるまちづくり

目標 8

まちじゅう読書の推進

【学校・園・地域社会】

- 1) まちじゅう読書宣言の具現化と図書館機能およびネットワークの充実
- 2) 子ども読書活動の推進・学校図書館の活性化
- 3) 地域および団体・企業等の読書活動の推進

目標 9

歴史・文化の継承と芸術文化の振興

【学校・園・地域社会】

- 1) 歴史や文化の継承
- 2) 文化財の保護と活用
- 3) 芸術・文化活動の振興

令和7年度 学校教育における重点

1. 「未来を拓く 愛荘16年教育」構想の深化と拡充

全庁・全町的な推進体制による取組の展開

めざすはエフェクティブ・スクール※（効果のある学校）

※困難な状況にあってもそうした状況をかなりの程度克服し、学力の底上げ等に成功している学校

2. 学ぶ力の向上に向けた着実な実践と成果の創出

ワンステップ フォワード（一歩前へ）

～「自律」「徹底」「継続」「連携・協働」～

・読書活動のより一層の充実

「読書」のとらえ→頭と心を豊かにし、人生100年時代を生きる力のベースとなる（本は別世界に連れて行ってくれる扉、知的好奇心を喚起、学びの土壌を耕すもの、活字に慣れている子どもは長い文章を読むのに抵抗が少なく学力定着には有利に働く）

・基礎的読解力定着を目指した取り組みの強化と授業改善

→「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現、効果的なICT活用のさらなる推進

・教育活動全体を通した（自立）自律型人材育成のための取り組み強化

＝学欲（学びの意欲）、自己調整力、エージェンシー、非認知能力の高揚
→遊びこみ・学びこみ、自己決定・自己選択・自己による課題設定・自力解決・自己発信、一歩進んだキャリア教育（「夢とところざしの教育」・体験活動の充実）、郷土学習の推進、発達支持的生徒指導の重視・充実

・学びの環境づくり

「減メディア親読書」から「楽読書・活メディア」へ

自立・自律した学びの基礎を確立（家庭学習習慣・基本的生活習慣の確立）

3. 中学校区における連携、同一校種間連携、町内幼小中連携による取組、町内地域・県立学校等・他市町・他地域との連携・協働による「愛荘っ子」育て

・先進的、効果的な取組の共有と実践、探求する勢いのある教員の育成

・特別支援教育、道徳・人権教育、多様性の尊重、子ども理解、危機管理等における情報共有と迅速な対応・対策の構築、連携強化

・教科指導力の向上と教員研修の充実

・新たな教育課程、教育実践の探求・試行・実践

（文部科学省研究開発学校指定事

業推進地域 東京都目黒区との共同研究）

- ・社会教育・地域との相互補完・連携・協働の取組（CS、家庭の教育力向上、まちじゅう読書の推進、愛荘エデュケーション・アワード等）
 - ・家庭の教育力の向上
4. 人権感覚・感性を働かせた子どもの心に響く、生きて働く力を育む生徒指導・いのちの教育（道徳教育・人権教育・防災教育）の構築
- ・だれもが安心・安全な学校・園づくり
 - 有効ないじめ防止対策となる日常の指導の充実
 - ・自他の命・人権を大切にし、豊かににつながる力の育成
 - 子どもの危機管理能力の育成→自他の命を自ら守る子どもが主体となる防災教育
 - ・子どもたちの社会的自立を支える不登校支援
 - （校内支援ルームの拡充、フレンズ愛荘、関係機関との連携等）
5. 学校・園におけるウェルビーイングの実現（子どもよし・保護者よし・教職員よし）
- 自尊心（自己効力感）・レジリエンスの育成、新たな教育課程・運営体制の創造・構築（40分授業午前5時間制の試行・実践）※前掲、特色と魅力ある教育活動の創造、多様な学びの機会の充実（特別支援教育・不登校対策※前掲・一人一人の状況に応じた切れ目のない支援）、実感できる働き方改革、CSによる成果の実現等）
6. 第3期教育振興基本計画の共有化と具現化
- 「今日までの学校イメージおよびシステムの改革」「社会に開かれた教育課程の具体的実践」
7. 社会情勢や多様性に柔軟に対応した教育環境の整備
- 愛荘町独自の中学校部活動にかかる地域連携体制の構築
 - 持続可能な幼児期教育の在り方検討、特別支援教育・不登校の子ども・外国籍の子ども・困難な家庭背景を持つ子ども等配慮を要する子どもを守り育てる体制の構築

令和7年度 社会教育における重点

1. 「学びの循環社会の形成」

- ・ 全庁・全町的な推進体制による取組の展開（前掲）

ワンステップ フォワードとペイ フォワード※

※AがBに与える。BはAに恩を返すのではなく、Cに与える。CはAやBに対して恩を感じながら次の世代へより多くのことを伝えていく。結果、社会には互いを思いやり、自然に後進が育ちやすいポジティブな循環が生まれる。

2. 生涯学習体系実現のためのシステムづくり

- ・ 生涯学習2. 0アクションプランの実施

※自己完結型（消費型）に加えて循環型（生産型）の生涯学習のプラットフォームの形成

※充実した人生を送るために生涯を通じて行う学習を、自己に適した手段・方法を自ら選んで行う。

学びのスタイルの転換、学びから生まれる「循環型社会」へのアプローチ

- ・ CSを核とした人育てにつながる取組

3. 社学連携・協働の強化と自律型人材の育成

- ・ 局内連携強化の体制づくり
- ・ 学校教育との相互補完・連携・協働の取組（CS、家庭の教育力向上、まちじゅう読書の推進等）
- ・ 家庭の教育力の向上
- ・ 愛荘エデュケーション・アワードの充実とさらなる機運醸成
- ・ （仮称）「あいしょう放課後子ども塾」にかかる検討

4. 愛荘の魅力の創造と再発見につなげる国スポ・障スポ事業と郷土の学びの推進

- ・ さらなる文化・体育（スポーツ）振興のための環境整備
- ・ 国スポ・障スポ成功に向け着実に事業を推進（関係機関の連携協働による関連事業も含めた成果の実現）

5. 青少年健全育成の推進

- ・ 愛荘町少年センターによる青少年の健全育成・非行防止活動の充実
臨床心理士と連携した学校訪問の充実、関係機関との連携
- ・ 自ら学び考える力の醸成を図る 【※子ども・子育て施策推進交付金活用】

青少年健全育成・人権教育啓発演劇の実施（自己有用感の醸成）
人権を我が事として捉えるきっかけをつくり人権意識の高揚を図る
青少年育成町民会議等との連携による多世代交流活動の推進

6. 「読書のまちづくり」のさらなる推進

→町制施行20周年、まちじゅう読書の宣言から15年を契機としたさらなる推進プランの構築

7. 第3期教育振興基本計画の具現化

→アクションプランに基づく方向性の焦点化と取組の具体化

令和7年度 所管別重点事業

【教育振興課】

・児童生徒の学ぶ力向上策の推進

（文科省研究開発学校として、東京都目黒区と連携した秦荘西小学校・秦荘東小学校における40分授業午前5時間制の研究・実践、研究開発学校推進会議を核とした町内完全実施に向けた体制確立と研究推進）

・「未来を拓く愛荘16年教育」の深化と拡充→改訂版の周知・徹底

・特色ある読書活動、読書時間の創出（「帰りに図書館へ運動」、ビブリオバトル等）

・ICT機器の効果的利活用

（1人1台端末の更新、中学校コンピュータ教室の機器更新、保護者連絡システム・園務支援システムの導入・活用）

・共創型課題解決プロジェクトの推進→一層の授業改善と基礎的読解力・学欲・自己調整力・非認知能力の伸長（愛荘の教育を考える円卓会議・特色ある校園内研究・郷土学習・キャリア教育講演会・愛荘こどもの大学《イングリッシュキャンプ・STEAM教育を含む》・起業体験プログラム事業の開催等）

・発達支持的生徒指導、教育相談、いのちの教育の一層の充実→規律・責任・他者への尊敬の3R（ルール・レスポンスビリティ・リスペクト）を重視する指導・相談の構築、自尊感情（自己効力感）を育む子ども主体の自主・自治活動の創造、校園出前防災学習（くらし安全環境課・社協との連携）

・不登校支援対策の強化（教育支援ルームの充実・校内教育支援センターの充実、フリースクール等民間施設利用支援補助金の創設）

・愛荘町部活動地域連携プランの取りまとめ（中学校部活動あり方検討会）

・持続可能な幼児期教育の在り方について部局横断的な取り組みの推進

・教育環境の改善（学校施設の改修、体育館の空調整備）への取り組み

- ・国スポ障スポに向けた取り組みへの参加・参画（園・学校でのポスター掲示・行事等でのPR、国スポ大会見学、花いっぱい運動への参加）
- ・子ども家庭センターを核とした連携強化（教福連携会議の定例化）
- ・校種間連携の強化（学びに向かう力推進事業、学びの礎育み推進事業、中学校区研究会、研究開発学校推進会議、愛知高校・愛知高等養護学校との連携）
- ・社会学連携の新たな子ども支援→（仮称）「あいしょう放課後子ども塾」にかかる検討
- ・教職員の指導力向上（全員研修会年2回）
- ・実感できる働き方改革の実行（ICT活用、徴収金事務の簡素化、教育課程の見直し）
- ・スマホ利用、デジタル・デトックスにかかる家庭啓発（各種文書・広報）

●施策指標

指 標	現状値	目標値
自尊感情（自分にはよいところがある）	小 84.1 中 79.4	小 90 中 85
将来の夢や目標	小 83.0 中 69.1	小 90 中 75
思いや考えを書いて表す	小 77.1 中 67.0	小 82 中 70
1日の家庭学習時間（20×学年、2h）	小 73.2 中 45.7	小 75 中 50
1日の読書時間（30分以上）	小 45.1 中 20.3	小 50 中 30
1日のスマホ利用時間（2時間未満）	小 60.8 中 38.1	小 65 中 45

【給食センター】

- ・新たな第4次愛荘町食育推進計画に基づく食育の推進（令和7年度～令和11年度）
- ・学校、園、地域、行政による連携の強化で食育ネットワークの形成
- ・給食調理機器等の計画的更新
- ・デジタルの活用で、動画配信による学習、食育関連情報の共有
- ・学校給食献立における地場産物を活用した取組
- ・食育セミナーの充実（愛荘町の食に関する課題への取組）
- ・アレルギー対応食への取組

●施策指標

指 標	現状値	目標値
給食を残さず食べる子どもの割合	幼 86 小 84 中 85	幼 88 小 85 中 86
愛荘町学校給食の地場産物使用割合	38.8%	30.0% ※現状の維持向上に努める。

【生涯学習課】

- ・生涯学習 2. 0 のアクションプランの実施
コーディネーターの育成、既存施設利活用の検討、デジタル技術等を活用した新しい生涯学習の創出、町民企画講座の開催による学びの循環や講師の育成
- ・社会教育団体における目標の明確化ならびに組織のスリム化の検討
- ・社会教育士資格取得者による町民等のスキルを活かした生涯学習講座の展開（あいしょう学びの広場と社会教育士による町民講師育成プログラム策定）
- ・「行動する社会教育委員」によるまちづくりに向けた取組
令和7年度活動テーマは「まちじゅう読書の推進」であり、「まちじゅうライブラリーの実践
- ・コミュニティースクールの充実
学校園を核とした人づくり・地域づくりの好循環を創り、「地域とともにある学校園づくり」を推進する
学校管理計画の中で「CS ビジョン」を明記し、学校園・地域・家庭が理解し共有する「具体的な行動目標」を立てる
「社会に開かれた教育課程」による授業改善を進めることにより、子どもが主役となるプログラムにする
授業や学校行事への応援・支援について推進員と定期的対話をする
- ・愛荘町少年センターによる青少年の健全育成・非行防止活動の充実
臨床心理士と連携した学校訪問の充実、関係機関との連携
警察署やこども家庭センター等関係機関との連携
- ・社会学連携事業として愛荘エデュケーション・アワードの開催と充実
社会教育・学校教育の分野において主体的に学び、実践、探求している個人・団体等の取組について学ぶ機会を提供し、さらなる教育の発展に繋げる
- ・自ら学び考える力の醸成、多世代間交流事業の推進
- ・利用者の安心・安全を考慮したハーティーセンター秦荘の長寿命化改修（令和7年度から令和8年度にかけて改修工事を実施）
- ・人権問題は自分自身の問題であることに気付く参加型人権学習の推進
- ・社会体育施設の老朽化等への修繕対応
社会体育施設の老朽化等への修繕の対応を適宜実施し、安心安全な施設管理を目指す
- ・スポーツ推進委員の活躍
生涯スポーツを通じ、スポーツの力を活かした人づくりや地域づくりの推進
- ・国スポ・障スポ大会への取組および今後の方針
気運の醸成、大会成功に向けた着実な推進、アーチェリー競技の普及

啓発、選手・監督など全国からの来訪者への愛荘町らしいおもてなしを実施し、社会体育施設の在り方を含む次のレガシーの検討

企業・団体・地域が一丸となり、全国からの来訪者に対しおもてなしの提供と大会成功へ向けた取組の強化

○楽しく健康で暮らせるまち

町民全体の協力と機運を高めることで、アーチェリー競技をはじめとする競技スポーツや生涯スポーツに対する町民の関心を引き出し、町の総合計画である「いつでも どこでも いつまでも」スポーツに親しむことができるよう促すことで、町民が心豊かに楽しく健康で暮らせるまちを目指す

○交流人口の拡大と賑わいの創出

国民スポーツ大会を契機とし交流人口を拡大、観光資源を活かした賑わいの創出を目指す

・青少年健全育成の推進

青パトによる街頭巡回活動等の実施

臨床心理士による悩み・トラブル相談窓口の設置や学校訪問

街頭巡回活動および少年補導委員活動の充実

●施策指標

指 標	現状値	目標値
生涯学習講座の受講者数	1,199 人	1,250 人
アーチェリー普及啓発事業（スポーツフェスティバル含む）への参加者数	680 人	800 人
スポーツ推進委員出前講座	3 回	6 回
本大会来訪者予定人数	—	5,100 人
町民企画講座	12 講座	15 講座

【歴史文化博物館】

・国スポ・障スポ大会開催に合わせて、愛荘町の歴史と魅力を伝える展覧会を開催 令和7年度秋季特別展（仮）「百発百中!?仏心寺の仏様」

・愛荘町の歴史文化を、町の子どもたちへ継承

博物館所管施設への見学受け入れ、小中学校への出前授業等授業支援

・博物館展示スペースの見直し→収蔵資料をより多く見せて伝える展示を行う。

旧幼稚園保管の埋蔵遺物コンテナを収蔵展示として活用。

博物館収蔵庫および旧幼稚園保管の民具を博物館内で展示。

民具の状態にあわせて、さわれる展示や屋外展示等を検討する。

・文化財保存活用地域計画の策定準備

- ・ 博物館長寿命化に係る改修計画の検討
照明 LED 化準備…館内の電灯機器を LED に交換（蛍光灯 2027 年末で終了）
※優先度：展示室→事務室→収蔵庫
旧秦荘幼稚園舎の埋蔵資料、民具類を博物館へ移動させた上で、収蔵スペースの再計算（今後の収蔵も含む）。
トイレ…管理棟 1 階を整備準備（和式→洋式）
- ・ 施設保全…諸々の修繕（随時実施。壁面等）

●施策指標

指 標	現状値	目標値
1 年間の入館者数	11,136 人	12,000 人
小中学校の見学・出前授業受け入れ	4 校 6 回	4 校 6 回以上

【図書館】

- ・ 子ども読書活動の推進
幼稚園、保育園、子ども会等での「出前おはなしかい」の開催
読書記録活動「(仮称)リーディングアーチェリーあいしょう」の実施
夏休みに読むおすすめ本リストの作成、ブックトークの開催
ふれママ教室での出前図書館の実施
- ・ 学校図書館の利活用の促進
小・中学校 学校図書館への図書指導員（学校司書）の配置
小学校・中学校でのビブリオバトルの開催
小学校全クラスでのおはなしかい、ブックトークの開催
- ・ 施設の長寿命化工事、LED 化の推進による町立図書館の機能強化
古文書をよむ会、あたまいきいき音読教室の開催
健康推進課連携による健康講演会、関連資料展示の実施
所蔵資料の電子化、電子的公開による電子図書館機能の推進
- ・ 町制施行 20 周年を迎え、愛荘町まちじゅう読書のさらなる推進を目指す
まちじゅう読書拠点の整備
「愛荘町まちじゅう読書」の今後の方策を検討

●施策指標

指 標	現状値	目標値
町立図書館入館者数（2 館合計）	107,497 人	110,000 人以上
小学校学校図書館貸出冊数（4 館合計）	54,411 冊	55,000 冊以上

以下ページ 資料 ・「未来を拓く 愛荘 16 年教育」ポンチ絵



未来を拓く 愛荘 16 年教育



令和4年4月から、「未来を拓く愛荘 16 年教育」をスタートしました。この教育は、母親のおなかの中で生を受けた胎児が、義務教育である中学校を卒業するまでを「人生のベース（基礎）を確立する16年」ととらえ、心身の発達を育んでいくものです。子育て・保育・教育にかかる施策を全庁・全町的に取組み、16年間の積み上げを図っていきます。

人の脳の前部分、「前頭前野」を活発に働かせることは、子どもたちの健全な育成につながります。

「読み・書き・計算」を毎日少しずつ継続的に取り組むことで、前頭前野を鍛えることができますと言われています。

ぜんとうぜんや
前頭前野



ALT との外国語学習



ボランティアによる読み聞かせ



おひざでだっこのおはなしかい

※5 就学前の時期においては、福祉部門（健康推進課等）と教育委員会が連携を密にして、取組を推進します。



子育て支援センター「わんぱく広場」

めざす子どもの姿

- ◎主体的・自律的な学び、探究的な学びができる子ども
- ◎自他を尊重し、社会の一員としての自覚をもつ子ども
- ◎自己の生活時間をコントロールできる子ども

- ◎主体的・対話的な学びができ、考えを深められる子ども
- ◎自他を大切に、多様な人々と関わる子ども
- ◎基本的生活習慣を身につけ、日常生活が送れる子ども

- ◎遊びを通し、意欲や達成感を感じることができる子ども
- ◎遊びで感じた思いを友だちと共有し、仲良くできる子ども
- ◎早寝・早起き等のリズムのある生活を送れる子ども

中学校卒業

中学校入学

小学校卒業

小学校入学

幼児卒園（5才児）

乳児期

胎児期

未来を拓く意欲に満ちた「愛荘っ子」

自己指導能力を育む
生徒指導

自主・自律・自治の力の伸長（生徒会・部活動・ボランティア）

豊かなコミュニケーションを育む
取組（交流、国際理解、外国語、ソーシャルスキル、合理的配慮等）

「自己調整力」（メディアコントロールする力）を育む

基本的生活習慣の確立
※4「愛荘スタンダード」の実践

読み聞かせ、読書の
「乳保幼小中」一貫教育

※5
お母さん、お父さんへの支援・啓発・教育相談活動

起業家教育（探究）

職場体験学習
キャリア教育
（こころざしの教育）

豊かなつながり、
人権感覚・感性
（人権教育）

CS・地域
学校協働活動

農業体験

柔軟な教育課程の編成
「40分授業午前5時間制」

非認知能力の育成

幼保小架け橋プログラム

自然に親しむ活動

※3 自尊感情（自己肯定感・自己有用感・自己効力感等）の育成
メンタルヘルス予防教育

温かい親子関係
家族コミュニケーション

※1
各種学力調査等による分析・検証・改善

個別最適化された学び
（タブレットドリル等 ICT 機器活用）

※2
「ビブリオバトル」
「朝読」
「並行読書」

単元内
自由進度学習

「一人勉強」
できる力の育成

言語活動の充実
（読む、書く、話す、発信）

授業改善（主体的・対話的で深い学びの充実）

※3 自尊感情の育成（お誕生会の取組）

※3
長所も短所もひっくるめて、自分自身をかけがえのない存在と思う気持ち



タブレットによる朝学習

※1 ①で示したものの3本の柱に関する理念や活動・内容等の主なものを混在する形で示しています。できる限り発達段階と合うように表示していますが、紙面の都合上、若干のずれがあります。

※2 ビブリオバトル
ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」（本の紹介合戦）です。おすすめ本の紹介後、質疑応答し、その後「チャンプ本」を投票で決めます。



郷土学習（古墳公園）



授業改善（学ぶ力向上）



※3 自尊感情の育成（お誕生会の取組）



自然に親しむ活動（稲刈り体験）

自律の力を育む取組
「楽読書・活メディア」

しなやかでたくましい
心身を育む取組

基礎的読解力を
育成する取組